

植木直一郎 うきむすぢいちろう 國文學者、文學博士。明治十一年二月二十九日  
新潟縣生れ、昭和二十四年七月八日歿（八七—一九五九）。筆名大原明麗。  
國學院大學國史學科卒。同大教授、學監。

著書 『日本古典研究』（昭和二年十月七日大明堂書店）、『御成敗式  
目研究』（昭和五年六月十五日岩波書店）、『神典古事記講話』（昭和  
九年十一月十七日葦華社）、『古語拾遺と神國日本精神』（昭和十五  
年九月八日教學局編「日本精神叢書」）、『我が國史の特質と就て』（  
昭和十五年十月二十六日茨城・大澤表直刊「茨城縣師範學校日本文  
化講座」）、『古事記と肇國の精神』（七刷・昭和十八年十月八日文  
部省教學局編「日本精神叢書」）、『神宗神（天皇）の御聖徳』（他五名合  
著・下村壽一編著、昭和十九年九月二十日文松堂出版株式會社）等。

